

事業所名： (有)グループホームせいゆう荘

作成日： 平成 26 年 3 月 10 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1-(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に繋げている。	朝のミーティングで理念を唱和し、笑顔で挨拶・利用者への言葉掛け、明るい職場環境を目指す。	チームケアがされていない為、チームでケアをす ると言うのを再確認し、まずは主任会議で話し 合った。	ヶ月
2	4-(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、 評価への取り組み状況等について報告や話し合 いを行い、そこでの意見をサービス向上に活か している	年間の議題・担当者を決める。地域の方に参加して頂くために努力する。	議題・担当者を決め、地域の方に参加して頂くた めに、地域役員等に挨拶回りをする予定をしてい る。	ヶ月
3	10-(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員なら びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営 に反映させている。	家族会を開けるように家族と相談をする。	面会時などに家族会を開くことを話し、一部では あるが良い返事を頂きました。	ヶ月
4	11-(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞く機会を設け、反映させている。	月一回のケア会議を持続し、職員全員が意見 を言い合えるような会議にする。	研修発表会をケア会議を利用し行っている。ケア 方法や看護師を中心としたケアが少しずつ出来 ている。	ヶ月
5	26-(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、 それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即 した介護計画を作成している。	職員全員で計画内容を共有し、個々のケアの 仕方を把握し、チームで一律した介護を目標と する。	ケアマネージャーにより、支援経過のファイルに 閉じ込み、日々の記録の中で計画の確認をして いる。	ヶ月

優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
6	35-(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難出来る方法を全職員が身につけるとともに地域との協力体制を築いている。	非常食や飲料水などの準備が不十分であり、災害対策の検討をする。	少しずつではあるが、非常食や飲料水の準備をしている。	ヶ月
7					ヶ月
8					ヶ月
9					ヶ月
10					ヶ月
11					ヶ月